

2020年10月15日

SUBARU 新型「レヴォーグ」を発表

～高度運転支援システム「アイサイト X」搭載グレード構成比が、先行予約台数全体の9割超え*1～

- 360度センシングを実現し、リアルワールドにおける安全性を進化させた「新世代アイサイト」を全車標準装備
- 3D高精度地図データと、GPSや準天頂衛星「みちびき」などの情報を活用した高度運転支援システム「アイサイト X (エックス)」をSUBARU初採用
- 新開発 1.8L 直噴ターボ“DIT”エンジンやスバルグローバルプラットフォーム×フルインナーフレーム構造を採用
- 大型センターインフォメーションディスプレイや、フル液晶メーターで構成された先進的なデジタルコックピットを採用

SUBARUは、新型「レヴォーグ」を本日10月15日に発表します。

新型「レヴォーグ」は、SUBARUに脈々と受け継がれる「より遠くまで、より早く、より快適に、より安全に」というブランドツーリングのDNAを継承。そのうえで、SUBARUの最新技術を結集し、「先進安全」、「スポーティ」、「ワゴン価値」の3つの価値を革新的に進化させたパフォーマンスワゴンです。

「先進安全」では、360度センシングを実現し、リアルワールドにおける安全性を進化させた「新世代アイサイト」を全車標準装備。さらに、3D高精度地図データと、GPSや準天頂衛星「みちびき」などの情報を活用した高度運転支援システム「アイサイト X (エックス)」を搭載したグレードを新たに設定することで、新次元のストレスフリーなセーフティドライビングを実現しました。

「スポーティ」では、新開発 1.8L 直噴ターボ“DIT”エンジンやスバルグローバルプラットフォーム×フルインナーフレーム構造により、走りの質感を飛躍的に高めました。また新デザインコンセプト「BOLDER*2」をSUBARU量産車で初めて採用し、スポーティさを大胆に表現しました。

「ワゴン価値」では、快適性や積載性を実現するワゴン機能やインテリアに磨きをかけました。大型センターインフォメーションディスプレイや、アイサイト X 搭載グレードに採用のフル液晶メーターで構成された先進的なデジタルコックピットは、運転に必要な情報の認知から操作を、よりスマートにサポートします。

新型「レヴォーグ」の先行予約台数は、2020年8月20日から10月14日までに8,290台に達しました。また高度運転支援システム「アイサイト X」搭載グレードが93%と、多くのお客様に新型「レヴォーグ」の先進性が支持されています。

*1:先行予約期間:2020年8月20日～10月14日。

*2:SUBARUのデザインフィロソフィーである「Dynamic × Solid」を深化させ、それぞれのクルマが持つ価値をより大胆に際立たせる新デザインコンセプト。



新型レヴォーグ「GT-H EX」エクステリア



新型レヴォーグ「GT-H EX」インテリア

<SUBARUオフィシャル web サイト 新型「レヴォーグ」>

<https://www.subaru.jp/levorg/levorg/>

【商品の主な特徴】*3

1. 安全性能

(1)360 度センシングを実現し、安全性を向上させた「新世代アイサイト」を全車標準装備

広角化した新開発のステレオカメラに加えて、前後 4 つのレーダーを組み合わせることで 360 度センシングを実現。ソフトウェアの性能向上や、電動ブレーキブースターの採用などにより、これまで以上に幅広いシーンで安全運転をサポートします。

・前側方プリクラッシュブレーキ

見通しの悪い交差点や店舗の駐車場などから出庫する際に、前側方レーダーによって前側方から接近する車両を検知。衝突の危険があるとシステムが判断した場合、警報音やアイサイトアシストモニターなどで注意を喚起。回避操作がない場合はブレーキ制御を行い、出会い頭の衝突回避をサポートします。

・前側方警戒アシスト

11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイにフロントビューモニターを表示させている場合に、見通しの悪い交差点などで、前側方レーダーによって接近車両を検知すると、映像内にインジケーターで通知します。

・緊急時プリクラッシュステアリング

プリクラッシュブレーキの制御だけでは衝突回避が困難な場合、システムが周囲に回避スペースがあると判断すると、ステアリング制御もあわせて行い衝突回避をサポートします。

・エマージェンシーレーンキープアシスト

約 60km/h 以上で走行している場合、隣接車線の後方車両が接近しているにもかかわらず、車線変更を行おうとした場合や車線からはみ出しそうになった際、音と表示でドライバーに注意を喚起するとともに、ステアリング操作をアシストして車線からの逸脱を抑制します。

(2)高精度マップを活用した新開発の先進運転支援システム「アイサイト X」を採用

一定の条件を満たした自動車専用道路において、GPS や準天頂衛星「みちびき」などからの情報と、車線単位の道路情報を持つ 3D 高精度地図データを組み合わせることで、自車位置を正確に把握。運転支援機能を大幅に拡張します。作動条件が揃うとメーターにアイコンが表示され、ステアリングのスイッチを押すとシステムが作動。幅広いシーンでアクセル・ブレーキ・ステアリング操作のアシストを行い、快適なロングドライブをサポートします。

・渋滞時ハンズオフアシスト

自動車専用道路上での渋滞停止時(0km/h～約 50km/h)、一定の条件を満たすと、ステアリングから手を放すことが可能となります。

・渋滞時発進アシスト

自動車専用道路上での渋滞時、ドライバーが前を向いているなど一定の条件が揃えば、スイッチ操作をすることなく発進します。

・カーブ前速度制御

自動車専用道路を走行中、進入するカーブの曲率に合わせて、適切な速度に制御します。

・料金所前速度制御

料金所の手前で、ETC ゲートを安全に通過できる速度まで減速。通過後はセット車速まで加速します。

・アクティブレーンチェンジアシスト

自動車専用道路での高速走行時(約 70km/h～約 120km/h)、ドライバーが方向指示器を操作し、システムが作動可能と判断すると、ステアリングを制御して車線変更のアシストを行います。

・ドライバー異常時対応システム

ツーリングアシスト作動中に長時間ステアリングから手を放しているとシステムが判断した場合や、渋滞時ハンズオフアシスト作動中に脇見や居眠りを検出した場合に、警告を行います。それでもステアリングを握らないことが続いた場合は、ドライバーに異常が発生したと判断。徐々に減速・停止し、ハザードランプやホーンで周囲に知らせます。

(3)「つながる安全」がさらなる安心感をもたらすコネクティッドサービス「SUBARU STARLINK」を採用

11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイや GPS、車載通信機などを搭載し、24 時間 365 日コールセンターとつながることで、交通事故やトラブルが発生した際に、確かな安心でサポートするサービスです。

<基本機能(無料)>

車両を安全に利用する上で重要なご案内(リコール等)を 11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイに表示します。

<SUBARU つながる安心パッケージ(新車購入の場合、初度登録日から5年間無料、6年目以降は有料)>

- ・先進事故自動通報(ヘルプネット®)
エアバッグが作動するような衝突事故が発生した場合に、自動的にコールセンターにつながり警察や消防、医療機関等と連携。より迅速に救命活動が行われるようサポートします。
- ・SUBARU SOS コール
急な体調不良など運転が困難な場合に、専用ボタンを押すとコールセンターにつながります。専門スタッフからアドバイスを受たり、必要に応じて救急に対する出動要請をします。
- ・SUBARU iコール(安心ほっとライン)
車両故障など突然のトラブル時に専用ボタンを押すとコールセンターに接続。ロードサービス窓口への取次や状況に応じた適切なアドバイスなど、24時間体制でサポートします。
- ・故障診断アラート&セキュリティアラート
車両の盗難警報装置が作動した場合や、警告灯が点灯するような車両故障が発生した場合には、専用アプリやEメールで通知します。

(4)万が一の事故の被害を、最小限にする衝突安全性能の進化

- ・8つの乗員保護エアバッグ
デュアルSRSエアバッグをはじめ、側面衝突時に備えるSRSサイドエアバッグ+SRSカーテンエアバッグや、前面衝突時に下肢へのダメージを軽減する運転席SRSニーエアバッグ、さらにシートベルトによる拘束保護性能を高める助手席SRSシートクッションエアバッグを採用しました。
- ・歩行者保護エアバッグ
歩行者との衝突を検知した場合、Aピラーやフロントガラス下部といった硬いパーツを覆うようにエアバッグが展開。歩行者への衝撃を緩和します。

2. 走行性能

- ・ドライブモードセレクト(STI Sport/STI Sport EXに搭載)
スポーツカーのような走行特性を愉しめる走りから、高級車のようなしなやかな乗り心地を重視した走りまで、スイッチひとつで、クルマのキャラクターを切り替え。パワーユニットだけでなく、AWDシステムや電子制御ダンパー、パワーステアリング、アイサイトの追従加速度、エアコンに至るまで、さまざまなデバイスを緻密に制御することで、クルマのキャラクターを大きく変化させます。あらかじめ設定された4つのモードに加えて、各デバイスの設定を自由にカスタマイズできるモードも搭載しました。
- ・新開発1.8L直噴ターボ“DIT”エンジン
日常での扱いやすさを重視し、低回転域から300N・mの高トルクを発生。また最新技術リーン燃焼などの採用により、優れた環境性能も実現しました。
- ・スバルグローバルプラットフォーム×フルインナーフレーム構造
総合安全性能のレベルを引き上げるとともに、ドライバーの意思に忠実なハンドリングや、不快な振動騒音を低減した快適な乗り心地を提供する「スバルグローバルプラットフォーム」。レヴォーグではその高いポテンシャルをベースに、ボディ全体の骨格連続性を高める「フルインナーフレーム構造」や微小な変形を抑える「構造用接着剤」などを採用し、さらなる高剛性化と軽量化を実現しました。
- ・2ピニオン電動パワーステアリング
電動パワーステアリングのモーターアシスト軸と、ドライバーのステアリング操作軸を別軸にする2ピニオン方式を採用。より滑らかでリニアなステアリングフィールを実現しました。

3. デザイン

新たなデザインコンセプト「BOLDER」をSUBARU量産車で初めて採用。レヴォーグが持つ個性をより大胆に際立たせ、「意のままにコントロールする愉しさ」や「先進性」を表現

- ・フロントビュー
立体的で、ワイドに構えたヘキサゴングリルと、シャープで切れ味の鋭いヘッドランプの精悍な目つきがSUBARUらしさを表現。また、大胆に張り出したフェンダーが力強さを感じさせるデザインとしました。
- ・サイドビュー
大胆な前傾姿勢で切れ上がったスムーズなサイドシルエットと、今にも走り出しそうな勢いのあるキャラクターラインで、新型レヴォーグが備える走りのパフォーマンスを表現しました。
- ・リヤビュー
機能を集約したリヤコンビネーションランプは、コンパクトデザインでシャープな印象を持たせつつ、クルマ全体はワイドで安定感のある佇まいとしました。絞り込んだキャビンの造形に対して、リヤフェンダーは大きく張り出した造形とすることで、パフォーマンスの高さを表現しています。

4. パッケージ/ユーティリティ

ツーリングにおける高い快適性や荷室の実用性を実現する「ワゴン機能」。インテリアの上質感や先進的なデジタルコックピットがパフォーマンスワゴンとしての価値をさらに高めました。

(1)新開発のパワーリヤゲートや大容量サブトランクを採用し、荷室の機能性を大幅に向上

・ハンズフリーオープンパワーリヤゲート

アクセスキーを携帯、リヤの六連星オーナメントに肘など体の一部を近づけるとリヤゲートが自動で開きます。また、リヤゲートを閉めると同時に全ドアを施錠するロックシステムも採用しました。

・カーゴルーム/大型サブトランク

従来からの広い荷室スペースに加えて、大容量のサブトランクを新たに採用。荷室総容量を 561L(カーゴフロアボード上部:492L、サブトランク:69L/VDA方式)として積載性能が大幅に向上しました。

(2)「座って感じるクルマとの一体感」「走って感じる安心感」、そして「スポーティで快適なインテリア」を実現

・フロントスポーツシート

ロングドライブでも疲れにくい快適性と、スポーティな走りにも応え高いホールド性を実現しました。

・インテリアデザイン

素材感や機能性の表現にこだわり、上質な室内空間を表現。パッケージングの最適化による後席居住空間の拡大など、パフォーマンスワゴンにふさわしい快適性を実現しました。また STI Sport は、ブラック/ボルドーの本革インテリアを採用。スポーティさと上質感を表現しました。

(3)タブレットライクな大型センターインフォメーションディスプレイや大型のフル液晶メーターを採用し、HMI(ヒューマンマシンインターフェイス)を充実

・HMI(ヒューマンマシンインターフェイス)

クルマとドライバーの接点である HMI を充実させることで、自動車を運転する際に必要なさまざまな情報の「認知」と、状況に応じた「操作」を的確にサポート。走行時に必要な情報をアイサイトアシストモニターとメーターに、設定や操作はセンターインフォメーションディスプレイに集約しました。

・11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイ&インフォテインメントシステム

大型かつ高精細のディスプレイに、ナビゲーションをはじめ、車両やエアコンの設定、SUBARU STARLINK、ラジオやテレビなどさまざまな機能を内蔵。音楽は USB または Bluetooth 接続したポータブルオーディオプレーヤーなどで再生できます。Apple CarPlay™/Android Auto™に対応し、スマートフォンにインストールされているアプリを大画面に表示して使用できるほか、音声認識による操作も可能。また静電容量式タッチパネルを採用しタブレット感覚で操作できる一方、オーディオボリュームやエアコンの温度調整など使用頻度の高い機能については、ディスプレイパネルに備えたハードスイッチで操作でき、多様な使い方にも配慮しています。

・12.3 インチフル液晶メーター(アイサイト X 搭載グレードに採用)

運転に必要な情報をグラフィカルに表示し、少ない視線移動で瞬時に認識できる先進的な液晶メーターを新たに採用。スピードメーターとタコメーターの 2 眼表示をする「ノーマル画面」、11.6 インチセンターインフォメーションディスプレイのナビゲーション情報と連携する「地図画面」、アイサイト関連の作動状態を大きく分かりやすく表示する「アイサイト画面」の 3 モード表示としました。

*3:グレードによって仕様が異なります。また各機能が作動する上で一定の条件を満たす必要があります。詳細はSUBARUオフィシャル web サイトの[新型「レヴォーグ」](#)をご覧ください。

【販売計画】

初年度計画台数 2,200 台/月

【価格表】

グレード	エンジン	変速機	駆動方式	価格(単位:円)		ボディカラー							
						クリスタルホワイト・パール※	アイスシルバー・メタリック	マグネタイトグレー・メタリック	クリスタルブラック・シリカ	ピュアレッド	クールグレーカーキ	ラピスブルー・パール	WRブルー・パール
				消費税抜	消費税込(10%)								
GT	1.8L 水平対向 4気筒DOHC 直噴ターボ“DIT”	リニアトロニック	AWD	2,820,000	3,102,000	○	○	○	○	○	○	○	
GT EX				3,170,000	3,487,000	○	○	○	○	○	○	○	
GT-H				3,020,000	3,322,000	○	○	○	○	○	○	○	
GT-H EX☆				3,370,000	3,707,000	○	○	○	○	○	○	○	
STI Sport				3,370,000	3,707,000	○	○	○	○	○	○	○	○
STI Sport EX				3,720,000	4,092,000	○	○	○	○	○	○	○	○

※:33,000 円高(消費税 10%込)

☆:写真掲載グレード

なお、商品等についてのお問い合わせは、最寄りの販売会社、またはSUBARU お客様センター「SUBARU コール」0120-052215 までお願いします。